

日米共同訓練（国内における米海兵隊との実動訓練）の概要についてのお知らせ

陸上自衛隊が、以下のとおり国内における米海兵隊との実動訓練（ノーザンヴァイパー）を実施しますので、お知らせします。

1 目的

陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、日米共同による諸職種協同作戦を実施する場合における相互連携要領を実行動により訓練し、相互運用性の向上を図る。

2 期間 平成30年9月10日（月）～9月29日（土）

3 場所 北海道大演習場、矢臼別演習場、上富良野演習場等

4 担任官

(1) 日本側：第2師団幕僚長 1等陸佐 木之田 進

(2) 米軍側：第36海兵航空群長 大佐 ジェームスF. ハープ

5 訓練実施部隊

(1) 陸上自衛隊

○第2師団第25普通科連隊、第2特科連隊等（約1,250名）

○装備品

89式5.56mm小銃、5.56mm機関銃MINIMI、12.7mm重機関銃、81mm迫撃砲、120mm迫撃砲、M24対人狙撃銃、99式155mm自走榴弾砲等

(2) 米海兵隊

○第36海兵航空群、第2海兵師団第2海兵連隊第3大隊、第12海兵連隊（砲兵）第3大隊等（約1,500名）

○装備品

5.56mm小銃、7.62mm中機関銃、7.62mm狙撃銃、60mm迫撃砲、81mm迫撃砲、対戦車ロケット砲、高機動ロケット砲システム（HIMARS）、航空機（MV-22、CH-53）等

これらの訓練内容のうち、矢臼別演習場で予定されている内容は次のとおりです。

① 訓練期間 平成30年9月16日（日）～9月24日（月）

② 訓練内容 実弾射撃訓練、ヘリボン訓練、空挺降下訓練等

ただし、上記期間の前後に訓練準備等のため、航空機が飛行する場合があります。

なお、MV-22 オスプレイの使用も計画されています。

問合せ先 ●陸上幕僚監部広報室 電話 03-3268-3111（内線 40084）

●別海町役場総務部総合政策課まちづくり推進担当

電話 0153-75-2111（内線 2211）